

おおよど

『おおよど元気だより』

第32号

平成31年3月号

元気だより

平成31年宮崎市大淀地区成人式
平成31年1月13日(日)大淀中学校

宮崎市大淀地区成人式



■ 大淀地域まちづくり推進委員会 宮崎市大坪町西六月2211番地1
TEL.FAX.0985-50-2008 oyodo-machi@aqua.plala.or.jp

2・3頁

■ 大淀地域自治区地域協議会 宮崎市大坪町西六月2211番地1
大淀地域事務所

4・5頁

TEL.0985-50-1111 FAX.0985-63-5730 07oyodo-c@city.miyazaki.miyazaki.jp

■ 大淀公民館 宮崎市京塚2丁目1番18号
TEL.0985-55-1233 FAX.0985-59-0747

6・7頁

■ 大淀地区社会福祉協議会 宮崎市大坪町西六月2211番地1
TEL.FAX.0985-52-6635 oyodo-sk@miyazaki-catv.ne.jp

8・9頁

■ 行事予定表 他

16頁

大淀地区青少年育成協議会広報

おおぞら

10~15頁



大淀地域まちづくり推進委員会

まちづくり推進委員会

第7回 あおよど福祉まつり

*地区社協と共に
平成30年11月25日

お天気に恵まれ、赤ちゃんからおじいちゃんおばちゃんまで約2400人が来場し、屋内、屋外の盛りだくさんのコーナーを楽しんでいただきました。わたあめやポップコーンのふるまいやカレーや焼きそばなどの飲食コーナーも行列ができていました。

会場の賑わいをみて、「福祉まつり」も大淀のイベントとして定着してきていることを感じつつ、まちづくりや各種団体・大淀中のボランティアの他、地域の保育園や小中学校の子どもたちなど、たくさんの方が参加協力いただいたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。



「大淀の夏を描こう」
絵ハガキ展示



スタンプラリーでお米やみかんが当たって喜ばれました



みやざき犬とあおよど音頭



子どもたちのカフェと駄菓子屋さんも大繁盛でした



ベビーマッサージ体験



「人生の終活」についての講話



毛糸で作るクリスマスリースが復活



ハイハイ大会は応募者が年々増え盛り上がっています。あからんたちに癒されます



大淀中合唱部



大淀小吹奏楽部



大淀中の生徒さんがボランティアで大活躍



健康チェック



轟太鼓



消防団ラッパ隊



交通安全教育車とパトカー一体験



大坪保育園学童さん



体力測定



JAのマスコットハピスちゃんも人気



天満宮の獅子舞



フリーマーケットやドネーションも人気



非常食体験コーナー



消防士さんになって消すぞうくんと記念写真撮影



歯科コーナー



JA大淀さんが「宮崎牛」をご提供くださいり、美味しいカレーができます



ポップコーン、わたあめのふるまいは大人気で毎年長蛇の列ができます



焼き鳥、ホルモン鍋、やきそばも大好評



子ども遊び広場

ふれあい健康ウォーキング大会

*青少協と共に
平成30年12月1日



スタート前に柔軟体操



鵬翔高校ハンドボール部の生徒さんがお手伝い



いざ出発！



大淀中の生徒さん、張り切ってごみ拾いも頑張るぞ！



天神山でお茶休憩



折り返し、あと半分



ゴール後の疲れた体にぜんざいがホッとします



抽選でお米やミカンが当たりました

まちづくり推進委員会

災害対策部会

小学生親子のための防災講座実施事業 古城小防災フェスタ 11月4日



古城小学校で恒例のPTAバザーに併せ、親子防災フェスタを開催しました。消防車や警察車両、水消火器体験、紙芝居、避難所体験コーナーなどを、スタンプラリーをしながら親子で楽しく学びました。抽選会では大人気のラジオ付防災ライトを10名の方にプレゼント。見事あたった子供たちの喜びの声や、残念な大きなため息が聞こえ、たいへん盛り上りました。

小学生のための通学路防災安全確認講座 (大淀小)1月25日



登下校時の災害を想定し、危険箇所や津波発生時に避難する3階以上の建物を探したり、倒壊が予想されるブロック塀などを地域のみなさんと歩きながら検証しました。学校へ戻り地図上にシールを貼り、もう一度確認作業を行いました。下級生のお手本となれるよう、立派な6年生になってくれると思います。

防災かまどベンチ設置事業 (大淀小)2月9日



宮崎県建築士会宮崎支部の皆さんと大淀小の児童保護者、地域の皆さんとで2基のかまどベンチ作りをしました。これから災害時はもちろん、防災訓練などでも活用していく予定です。

地域元気部会

花と緑のまちづくり事業 花の寄せ植え教室・大淀幼稚園 11月1日



11月1日大淀幼稚園にて、48名の年長さんと一緒に、寄せ植え教室を開催しました。柴原先生とお花の好きな部会のみなさんにお手伝いいただきました。子供たちは、シクラメンやビオラの花の名前や育て方を熱心に質問してくれました。「猫がおしつこかけたらどうしたらいいですか。」など、子どもならではの問い合わせに、笑顔があふれました。おうちでも、きれいに育ててもらい、大淀を花いっぱいにしていきたいですね。

天神山公園植栽 11月



地域の方々の力で、花壇の草取り、整地、肥料散布、苗の植え付けをしました。かわいいお花を是非見てください。

生活安全安心部会・ブルパト

レッド&ブルー特別警戒結成式 11月30日



南警察署とブルパト隊員はこれからも協力して、みんなの安全を守ります。

大淀中ロードレース大会交通整理 12月25日



見守り隊感謝集会 (大淀小)2月7日



早朝からの見守りいつもありがとうございます。子供たちからのお手紙に、元気をいただきました。

地域協議会・地域事務所

大淀地域協議会だより

2019年3月発行

No.57



第4回、第5回大淀地域自治区地域協議会

■平成30年度第4回大淀地域自治区地域協議会を平成30年10月17日(水)に開催しました。議事終了後、会長の辞任(協議会委員も辞任)が報告され、引き続いて新会長の選出について協議した結果、下記のとおりとなりました。

新会長	所属団体	旧会長	所属団体
中川 雄一	大淀地区自治会連合会	中村 鉄兵	公 募

※協議会委員の辞任によって生じた欠員枠については、新たに委員の募集を行うこととしました。

■平成30年度第5回大淀地域自治区地域協議会を平成30年12月19日(水)に開催しました。大淀地域まちづくり推進委員会からの地域コミュニティ活動交付金の追加申請について協議が行われ承認されました。

担当部会 (大淀まちづくり推進委員会)	事業名・内 容	予 算 額
災害対策部会	防災かまどベンチ設置事業 災害時の初期避難生活に備え、指定避難所の大淀小学校に防災かまどベンチを2基設置しました。(2月9日) ※今回は防災意識の啓発のため、宮崎県建築士会宮崎支部より技術指導をいただいて大淀小学校5・6年生とその保護者で一緒に防災かまどベンチの製作作業を行いました。   製作のようす	392,000円
災害対策部会	地域と幼稚園・小学校との合同避難訓練事業 災害に対しての避難の心得や避難経路の確認などを行う合同避難訓練を実施します。(3月1日)	11,000円
生活安全安心部会	生活安全ネットワーク事業 地域住民が安全で安心して暮らせる大淀地区を目指す会議を開催しました。(2月23日)	5,000円
地域元気部会	地域活性化事業(有孔展示パネルの追加購入) 大淀地区で開催される様々な行事や資料を案内・展示する、孔(あな)の有るパネルボードを追加購入します。	215,000円
事務局	福祉まつり付帯設備整備事業(放送設備の購入) おおよど福祉まつりや、その他大淀地区で開催される行事で広く活用する放送設備を購入します。	452,000円

地域協議会・地域事務所

地域のお宝発掘・発展・発信事業

■平成30年度第4回および第5回の大淀地域自治区地域協議会で報告がありました、地域のお宝発掘・発展・発信事業の進捗状況について紹介します。(報告者:大淀マチオモイ帖製作委員会)

★大淀地域の偉人・逸話(昔話)のCDの第2弾ができました。

今回完成したのは、私費を投じて初代橋橋を架けた福島邦成氏についての物語。

※このCDは非売品で、大淀地区の小中学校、公民館などに配布しています。

聴いてみたいという方は、下記の3施設いずれかにお問い合わせください。



大淀地域事務所 大淀地域まちづくり推進委員会 大淀公民館 (連絡先は表紙参照)

来年度はこれに続いて、全国初の女性の校長となった鳥原ツル氏についてのCDを製作の予定。

★大淀イルミネーションフェスタ・クリスマスフェスタを開催しました。

地域活動に積極的な若者が中心になって様々なイベントを開催し、賑わいました。

- ①南宮崎駅前ふれあいサロンにて、11月23日(金)に大淀イルミネーションフェスタを、12月23日(日)にクリスマスフェスタを開催しました。
- ②12月23日～1月22日に大淀マチオモイ帖のロゴを載せたイルミネーションバスが市内を走りました。



イルミネーション



イルミネーションバス

★「おおよどのかまつりカレンダー」ができました。

1月から12月までの大淀地域の様々な祭りを質の高い写真で紹介する「おおよどのかまつりカレンダー」ができました。価格は1部1,200円(税込)です。

ご購入は大淀マチオモイ帖製作委員会までお問い合わせ下さい。



おおよどのかまつりカレンダー

マチオモイ事業についてのお問い合わせ先:大淀マチオモイ帖製作委員会
宮崎市大淀4-5-12 南宮崎駅前ビル1階ふれあいサロン内 Tel 33-9095

笑顔が花咲く大淀めぐり



今回の登場は、昨年10月に新しく地域協議会の会長に就任された中川雄一さんです。新会長としての抱負などを語っていただきました。

2018年度の残りと、2019年度の大淀地域自治区地域協議会会長を引き受けることになりました中川雄一です。大淀地区自治会連合会理事として地域協議会委員になりました。大淀を笑顔の絶えない、明るく元気な地域にできるよう微力ながら活動する所存であります。地域の皆様のご協力をお願いいたします。大淀地域の「お宝発掘・発展・発信事業」として採択された「大淀マチオモイ事業」を主宰する「大淀マチオモイ帖製作委員会」の会長もしています。大淀の祭りの振興を目指していろいろな事業を展開し多忙な日々を送っていますが、よりよい大淀のため汗をかきたいと思っています。地域協議会は住民の代表として、市を始めとする関係機関に意見が述べられるよう、地域の各種団体や公募で選ばれた代表で構成されています。地域協議会で論議を尽くして、地域の皆様のお役に立つように働きたいと思っております。高齢者や子どもに手厚い心配りのできる優しい大淀、祭りや文化スポーツの充実した大淀、あいさつと笑顔が街の隅々まで伝わる大淀を地域住民一体となって作り上げようではありませんか。

平成 30 年度 大淀地区生涯学習推進協議会の報告

〈事務局 大淀公民館〉



今年度も大淀地区文化祭や成人式、文化講演会、各種スポーツ大会等の事業に取り組み、無事計画通りに終了することができました。各自治会・地域の皆様方のあたたかいご支援・ご協力によるものと心より感謝申し上げます。



大淀地区文化祭

10月13日（土）は晴天に恵まれ、たくさんの方々のご協力により、開催されました。

【出演者数】 295名 【出品数】 594点
【総参加者数】 約 1,100 名



スポーツ大会

普段は別々に活動しているグループの皆さんと楽しく交流することができました。

5月27日（日）ミニバレー大会 参加者 63名
11月 8日（木）ミニテニス大会 参加者 18名
11月 24日（土）卓球大会 参加者 17名



救急救命実践研修会

10月29日（月）に宮崎市南消防署中部出張所の救急隊員の方々をお招きし、心肺蘇生法を学びました。スライドやビデオを使った説明は、とてもわかりやすかったと好評でした。



大淀地区成人式

1月13日（日）に大淀中学校体育館にて、平成31年成人式を開催しました。

新成人 206名が出席し、司会進行等、全て新成人が行いました。



お知らせ

新しい時代の幕開けです！！

来年の大淀地区成人式の開催日時と会場を変更します。



日時 2020年1月3日（金）午後

会場 宮崎市民文化ホール

対象：平成26年度（平成27年3月）の中学校卒業生

平成11（1999）年4月2日から平成12（2000）年4月1日までに生まれた方です。



大淀公民館

平成 31 年度 大淀公民館前期主催講座（予定） 3月下旬から受講生募集！



対象	講 座 名	開講日	定員	曜日	時間帯	回	内 容
成人	アジコ釣りを楽しむ	5/22	15	5/22・23 水・木曜	9:30 ～11:30	2	1日目は公民館で釣糸の結び方等の実習、2日目は宮崎港で朝からサビキ釣り体験！【1,000円】
	大淀健康大学	5/29	20	1・3・5 水曜	10:00 ～12:00	6	栄養、薬、腸活、口コモ体操等、様々なテーマで健康な毎日をおくるための秘訣を伝授。
	個性を生かす マイクレッスン	5/30	20	木曜	13:30 ～15:30	1	正しいスキンケア方法を学び、ポイントメイクを学びませんか。自分しさを発見しよう！
	簡単すごい 椅子ストレッチ	5/31	20	隔週金曜	13:30 ～15:00	6	椅子に座ったまま無理なくできるストレッチで、足腰を鍛え元気になろう。
	安心便利なスマホ講座	6/3	15	毎週月曜	10:00 ～12:00	4	基本操作を学び、便利な機能やアプリを使ってみよう。（申込時に機種を記入）【500円+（道）】
	香りの旅	6/4	20	第1火曜	10:00 ～12:00	3	今注目されている香りの健康効果。アロマ／ハーブ／お香の実習をしませんか。【約3,000円】
	懐かしの昭和の洋食	6/7	16	1・3 金曜	9:30 ～11:30	4	子どもの頃に食べたオムライス等、ご馳走の洋食を自分で作ってみよう。男性も大歓迎！【3,000円】
	暮らしにスパイス	6/12	16	2・4 水曜	10:00 ～12:00	2	スパイスの歴史や効能を学び、スパイスティーや香り豊かなカレーを作ってみよう。【1,200円】
小学生	おおよど寺子屋	8/7	15	8/7・8・9 水・木・金曜	9:30 ～11:30	3	大学生と一緒に夏休みの課題に取り組もう。習字やアイロンビーズもあるよ。（小学生対象）【100円】

★講座の申込みは、大淀公民館宛に往復はがき（124円）でご郵送ください。

★公民館窓口で直接申し込みされる場合は、通常はがき（62円）をご持参ください。

★お問合せは大淀公民館へお電話ください。

大淀公民館 〒880-0937 宮崎市京塚2丁目1番18号 Tel 55-1233 Fax 59-0747

【記入例】



62 返信	8800937	※何も書かないで ください	
大淀公民館 行	宮崎市京塚2丁目 1-18		



62 返信	□□□□□ お名前	あなたの住所	①希望講座名 ②郵便番号・住所 ③氏名（ふりがな） （保護者氏名※） ※子ども・親子講座のみ ④性別 ⑤年齢（学校名・学年） ⑥電話番号 ⑦応募の動機
----------	--------------	--------	---



申込締切日 5月 10 日（金）必着

社会福祉協議会

大淀地区 社協だより

大淀地区社会福祉協議会 TEL・FAX 0985-52-6635

安全・安心 いきいき 大淀

平成 30 年度 福祉懇談会開催される (民生福祉部会)



今年度も 9 月より各自治会において、自治会役員、民生・児童委員、福祉協力員及び関係者が集まり開催されました。おかげさまでほとんどの地区で終了しました。福祉課題の情報の共有化、見守り活動の推進体制づくりなどについて活発に議論されました。

平成 30 年度 大淀地区社協全体研修会

平成 30 年 10 月 19 日 参加者：約 100 名
市民文化ホール イベントホール



山崎准教授の講演



講演内容に合わせた寸劇

市介護保険課 成松宏樹氏による「ぐるみん大淀」の講演、九州保健福祉大学 山崎睦男准教授による「地域共生社会と地域住民の役割について」の講演がありました。それぞれ現下の大淀地区的福祉懸案事項を深く掘り下げた講演でした。続いて、今回の講演会にあたり大淀地区的福祉・医療・介護関係者が参加して結成した“おおよどはひとつ劇団”による「『我が事・丸ごと』おおよど物語～サザエさん一家は今・・・～」の公演がありました。大淀包括職員書き下ろしのシナリオとともに、アドリブを交えながら地域の福祉問題の解決法をわかりやすく解説したものです。初公演にして感動の嵐でした。

生活支援検討委員会発足

平成 30 年 9 月 25 日

大淀地区在住の高齢者の生活支援の在り方を検討するため、各種団体（自治会連合会、社協、まち推、さんさんクラブ、福祉協力員）代表 7 名、市社協、大淀包括及び生活支援コーディネーターが参加して発足しました。委員長の黒木清秀氏を中心に 2 年間で構想をかためていく予定です。



認知症見守り声かけ模擬訓練

(高齢福祉部会・谷川自治会)

平成 31 年 1 月 26 日 参加者：52 名



福祉協力員研修会

平成 31 年 1 月 25 日 参加者：53 名
市総合福祉保健センター 視聴覚室

研修会では冒頭福祉協力員 6 名の方が社会福祉事業協力者として表彰されました。続いて、市社協事務課長 又木浩二氏から「はじまりは笑顔から」と題する講話がありました。



傾聴ボランティア勉強会

平成 30 年 10 月 24 日 参加者：27 名
市総合福祉保健センター 研修室

市社協竹下麻美氏から「傾聴ボランティアの姿勢と心構え」と題する講演があり、市社協が考える傾聴活動とは「支援ではなく、始援である」などの講話がありました。又、宮崎市田野町の傾聴ボランティア団体「うさぎの耳」から、「無理のない活動に心がける。介助、介護には手を出さない。」などの体験談がありました。



～愛のご寄付（香典返し）は、大淀地区社会福祉協議会へ～

社会福祉協議会



<児童福祉部会>

第4回 大淀地区子どもの声をきく会 <共催：大淀青少協>



平成30年12月8日 参加者：約100名
宮崎産業経営大学 講義室

発表者12名（大淀中3名、大淀小4名、
宮崎南小2名、古城小1名、恒久小2名）

今年も大淀中学校区の子ども達が、大淀の町への思いや考えを堂々と発表しました。

「ゴミのないクリーンな町」「事故のない安心・安全な町」「弱者に優しい町」「子ども会を活発にして地域全員が触れ合える町」など幅広い課題があがり、自分たちの町：大淀への熱い思いが伝わってきました。会場からもすぐに地域の取り組みの提案意見が出されるなど、将来の事を語り合い今何ができるかを皆が一緒に考える良い機会でした。参加者の方々からは「感謝・感動・感激にあふれる町だ」「子どもの考えを実行に向けて頑張ろう」「子ども達がもっと地域の人たちと触れ合いたいと考えていることがよく分かった」「もう少し参加者が増えて、子どもの意見を聞いて一緒に考えていきたい」などの沢山の感想をいただきました。

大淀地区文化祭

平成30年10月13日 大淀公民館

例年のプラバンと竹とんぼ作りコーナーに加え、今年は子ども達18名が参加して「駄菓子屋さん」をしました。子ども達の「いらっしゃいませー」「ありがとうございました！」の明るい元気な声が響きわたり、文化祭を盛り上げました。子ども達も地域の方々と交流ができて良い経験となりました。



竹とんぼ



駄菓子屋さん



冬休み子ども寺子屋「げんき教室」

平成30年12月26～27日 大淀地域事務所2F

夏の寺子屋で顔なじみになった子ども達は笑顔で声をかけ合いながら、冬休みの課題や手作り楽器を制作したり楽しく充実した時間を過ごしていました。これからも夏と冬の長期休暇には「げんき教室」を開催します。子ども達が誰でも気楽に参加できる、楽しい安らげる居場所づくりとして定着していくように期待しています。



お勉強中です



第7回 おおよど福祉まつり <大淀社協関係>

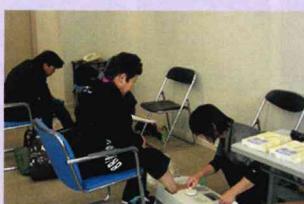
平成30年11月25日 市総合福祉保健センター他



体力測定



車いす体験



骨密度測定



喫茶あいあい



カレー販売



高齢者疑似体験



駄菓子屋さん



スーパーボール

2018年絵はがきコンクール

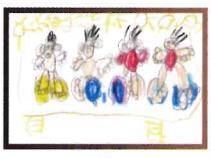
小学生1~3年生の部



金賞



銀賞



銅賞

小学生4~6年生の部



金賞



銀賞



銅賞

中学生の部



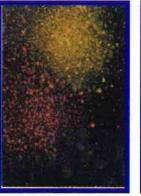
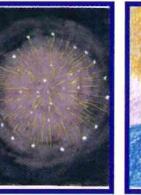
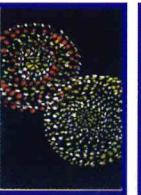
金賞



銀賞



銅賞



「大淀の夏を描こう」

主催 大淀地区青少年育成協議会
(一部掲載)



The image consists of two parts. On the left, there is a black and white portrait of a young person with dark hair and glasses, wearing a dark zip-up hoodie. This portrait is enclosed in an oval border. On the right, there is a colorful cartoon illustration of an elderly man with a white beard sitting in a wheelchair, and a young girl with brown hair standing next to him, smiling.

私たちに必要なもの
大定小 六年

欽定四庫全書



私たちに必要なもの
大淀小 六年 栗栖 里疏

障がいを持つた人が、不自由もなく、他の人と平等に生活ができる
と。これは、よりよい未来に向けて、やり上げるべき事の一つだと、私は
思います。そのためには、周りの人々
が助けてあげる事が、一番大切だと
私は考えました。そしてこの事が、
大淀地区のよりよい未来へとつな
がっていくと思います。

障がい、と言われると、盲目、難
聴がい、と言ふことがあります。

障がいを持つた人々のために私は
ちが動かなければいけない。しかし
具体的に何をすればいいのかという
人や、近しい人だけには限度がある、
という人も中にはいると思います。
でも、それはとても簡単だと思
います。近しい人だけに限らず、通り
がかつた人だって助ける事はできる
と思います。少しゆとりがあつたら、
何か一つ手伝ってあげる。これだけ
でいいと思います。そんな人が増え
れば、ゆくゆくは大きな支えになっ
てゆくのだと、私は思います。そし
て具体的に、何をすればいいのか。
これも簡単です。「何かお手伝いし
ましようか?」この一言でいいのです。
たったこれだけの事でも、ちっ
ぽけな支えでも、これでいいのです。
この助けていく姿勢こそが、私たち
が一番大切にするべき事だと、私は

大淀中 一年 横倉 志菜

私は去年、宮崎南小、代表として発表させてもらいました。そのときに話したことは、「大淀地区の良いところ、悪いところ」ということでした。良いところは、市立図書館や文化ホールがあり、とても勉強しやすい環境に住んでいるということでした。悪いところは、あいさつができていないということでした。

私は去年、あいさつを積極的にや
り、大淀地区をよくすると発表しま
した。でも、最初のころは、あいさ
つなど、積極的にやっていましたが、
途中からあいさつを返してくれる人
と返してくれない人が分かってきま
した。なので、あいさつを返してく
れる人には、あいさつを自分からす
るけど、あいさつを返してくれない
と分かってしまった人には、積極的
にじゃないあいさつをするか、あいさ
つをしないということになってしま
いました。

うちに、あいさつを返してくれる人に変わってくれるかもしれません。あいさつをすることは、とても小さなことです。でも、この積み重ねで毎日楽しく過ごせたり、地域の絆がふかまつたりするのです。

大淀地区の良いところは、最初のこと以外にも、数えきれないほどたくさんあると思います。でも悪いところは、とても少ないと思います。「あいさつをする」このことをやつていけば、今より良い大淀地区になります。あいさつをやりとりよい大淀地区をつくり上げて、いましょう。地域の方々、ご協力よろしくお願ひします。

地域の方とのふれ合い

大淀中 一年 岩野 榎
おはよつじぞいます。いつもあい

方々へ。
僕は、卓球部に入っています。練習はいつもきついけど楽しいです。そして、練習が終わって下校します。とてもつかれます。けれど地域の人にはいさつすると「ここにちは、ねつかれさま」と笑顔で言ってくれました。その言葉を聞くと自然と笑顔になり少し体がワットとした気分になりました。その後、地域の方々と接する事が楽しくなりました。しかし、お盆で福岡に帰省したと

のえんぜつにのぞめました。長年生き、その生活の中でも身についた知識を、僕に教えてくださったおばあさんのこの言葉は、これからも大事にしていきたいと思います。

最後に、地域のみなさん、僕や他の

A portrait of a young man with dark hair, wearing a white button-down shirt. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is a plain, light-colored wall.

もっと安全な大淀地区を
朝、僕が登校していると、黄緑色の服を着て子どもたちの安全を見守っている地域の方々の姿が見られます。元気よく挨拶をして気持ちの良い一日のスタートを切ることがでります。しかし、現在、大淀地区では車同士、自転車同士、車と人、自転車との事故が多くなってきています。そのため、もっと安全な大淀地区を築き上げていくために次のようなことを実施してほしいと思って



子どもたちの発表に応える中村会長

い
ま
す。

あります。

一つ目は、交通安全を呼びかけるポスターを、もっといろんな場所に掲示することです。例えば、交差点に掲示することでも、まだ標識が理解できていない小さな子どもでも、ポスターなら理解することができます。また、居酒屋などの飲食店の外や中に、飲酒運転防止を呼びかけるポスターを掲示したりすることも事故防止につながります。交通安全についての標語をポスターとして掲示しても、見る人は覚えやすく、わかりやすいと思います。

二つ目は、交通ルールについての講習会を増やし、学校だけでなく大淀地区でも実施することです。こうすることで、地区全体が交通ルールをより深く理解し、交通事故が少しでも減るのではないかと考えました。その講習会で標識の確認をするのもよいかと思います。

このように、大淀地区がもっと安全な地区になるように、ポスターの掲示、交通ルールについての講習会を開くという案を出しました。大淀地区は挨拶も環境もよい所です。しかし、安全面ではまだ欠けているところがあります。その穴を埋めるために、このようなことを実施してほしいです。また、自分自身も周りの人々に呼びかけていきたいです。

年々子どもの人数が減っている。「新しい事があるから」などの理由でやめていく人がほとんどだ。この、年々減少していく子どもの会、減つてていくのは人数だけではなく、確実に団体数も減っている。一九八〇年代、六千に迫る勢いだった団体数は今では三千六百余りに減少してしまった。やはり、原因は塾などの習事だ。

では、子ども会のいいところはどうなんだろう。まず、地域の人と清そう活動をして町をきれいにするなどの活動を行つていい。このような活動をし、たくさんの人と知り合つて、何かあつたときにも近くの人と知り合つて安心できるという良さがある。しかし、地域によっては、子ども会がないところもあるだろう。そのような地域の人たちは、地域で行われている祭りやイベントに参加し、地域の人と親しくを深めればいいと思う。また、日ごろから、自分から積極的に元気にあいさつをし、だれもが安心できる町にしていけば、すばらしい町になると思う。

安心して暮らせる町にしたい、そして元気のある明るい町にしたい、今私たちにできることは、地域の人とふれ合う時間をもっと増やすことだ。また、日ごろから積極的にあいさつをし、元気な町をつくることが大切だ。地域の行事に参加する、単純なことに聞こえるかもしれないが、それが安心して暮らせる町づくりにつながっていくと思う。そして、いくことが大切だと私は考える。

大淀地区がよりよくあるためにぼくは、インターネットを利用して、世界各地の映像を見ることがある。そのときに、南極の氷がとけて海面が上昇し、低い所にある土地が沈んでいる映像や、干ばつで土地が荒れている映像を見つけた。そして、その原因は地球の気温が高くなるだけだ。このような被害がおきるのかと知つて、ぞっとした。

地球の温度が上昇すると、海面が上昇するだけでなく、雨不足がおこり食糧不足やいろいろな環境問題もおこる。

そこでぼくは、これから地球がより良くあるためには、「温暖化の防止」が大切だと思った。ではどうすれば温暖化を止めるのだろうか。

ぼくは、温暖化の原因の一つとなる、「二酸化炭素の増加」を食い止めることが必要だと考えた。

大きな電力会社では、それを目的としたイベントを行つていて。例えばソーラーパネルの製作教室である。これは、太陽の光で、電気を作る道具を製作するものだ。また、バッグを持って行き、ビニール袋を使わないようにする取組もある。なぜマ

り組みができるのだろうか。これは、イルミネーションを飾り、自転車をこいで発電させ、みんなの力を合わせて点灯するというものである。このように方法はいくつも考えられる。

さつき、述べたとおり、大淀地区は人口が多く、二酸化炭素の排出量

酸化炭素の減少のために、どんな取り組みができるのだろうか。

大淀地区は、宮崎の中では人口が多く、交通量も多い。お店もたくさんあるので、地区外からも、たくさんの人たちがやってくる。活気があるが、その分二酸化炭素の排出量が多く、エネルギーもたくさん必要である。このままよいのだろうか。ぼくは、次のようなことを考えてみた。

まず木や植物をたくさん植え、その力で二酸化炭素を減少させる。これは街も美しくなるし、一石二鳥だと思う。

二つ目に街灯にソーラーパネルをつける。

三つ目にサイクリングロードを作る。自動車ではなく、自転車で町を移動することで、よけいなエネルギーの消費や二酸化炭素を減少させる。また、大淀地区では、自転車を自由にレンタカー利用できるステーションを作ると、地区内だけでも自転車で移動しようとする人が増えるのではないかと思う。

四つ目にたくさん人が集まるイベントや祭りで、リサイクルに関わるものをする。リサイクルできるものを持ってきたら何かと交換できるとか、クイズなどをしてもよいと思う。花火大会では見やすい席に座らせあげるのもいいと思う。大淀地区には、水掛地蔵まつりや天神桜まつりなどもあり、機会はたくさんあると思う。

最後にリサイクル遊園地である。これは、イルミネーションを飾り、自転車をこいで発電させ、みんなの力を合わせて点灯するというものである。このように方法はいくつも考えられる。

さつき、述べたとおり、大淀地区は人口が多く、二酸化炭素の排出量も多い。しかし、人口が多いということは、二酸化炭素減少に取り組むことは、仲間も多いということである。これが大淀地区の大きな強みであるとぼくは考える。

これから先、大淀地区の強みを生かして、よりよい大淀地区と地球を目指していきたいと思う。

地域の人と交流を増やしより良い未来へ

大人も子供も、お年寄りも、笑顔の絶えない社会にしていくこと。これがより良い未来にかけないことだ。そのためには、現在、減っていく地域の交流会や子供会を増やし、地域の人との交流を増やすこと。これが、みんなが笑顔でいられる社会にするための第一歩だと考える。

実際に、親や祖父母に聞いたところ、確かに昔は今よりも、もっとたくさんの地域の交流会や子供会、お祭りなどが、多くの子どもたちや大人たちが参加していたらしい。

日本は現在、少子高齢化が進んでいて、五人に一人は高齢者という割合である。そのような子どもの方が多いと、少ない町では、自分の子どもを知らない人と遊ぼせるのは怖い、と考える親も多いのではないかだろうか。だから、地域の交流会や子供会にあまり参加させたくないと思う人が増えたのではないかと考えた。わたしたちも、もっと自分たちの住む地域のことや、地域に住む人のことを知つて、交流会を増やしていくことが大事なのではないだろうか。

地域の人との交流を増やしたり活性化させたりするために、自分には何ができるだろうか。まずは高齢化社会についてあまり知らなかつたので、インターネットや本を読んで詳しく調べてみた。すると、日本では戦後あたりから少子高齢化が進んでいた。二〇〇六年にはさうに高齢化が進み、二・五人に一人が六十五歳以上の状況になると考えられる。遊びや買い物に出かけても、お年寄りをたくさん見かける。しかし私は、あいさつをしたり、困つていてはならないときには、勇気が出さずにできないことがある。

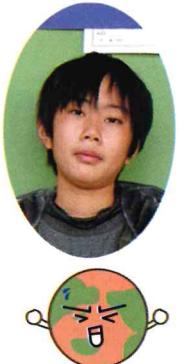
そんな時は、「自分自身もいつか必ず六十五歳を超えて『高齢者』と言われるときがくる。」と考えてみてはどうだろうか。そうすることで私は、「自分のこと」として考え、「お年寄りをたくさん見かける。しかし私は、あいさつをしたり、困つていてはならないときには、勇気が出さずにできないことがある。

誰でも「自分のこと」として考え、「お年寄りをたくさん見かける。しかし私は、あいさつをしたり、困つていてはならないときには、勇気が出さずにできないことがある。

さつだけで、町はもっと活性化されると考える。

日ごろから地域の人と関わり、交流を深めておけば、もしも地震などの災害がおこった時にも、お互いに助け合い、心身ともに支えあって生き抜くことができるのではないかと思う。

地域の人との交流を増やすことで、より良い未来につながっていってほしい。私にできることは、積極的に地域の人に対応したり、交流の会や子供会に参加したりすることだ。また、水かけ地蔵祭りなど、地域のお祭りにも積極的に参加していきたい。単純なことに聞こえるかも知れないが、そうすることが、明るくより良い未来につながっていくのだと私は考える。



いて、育てる活動もしています。スマスの花が満開になるごとで、とてもきれいで、地域の人たちにも喜んでもらっています。

私はこの古城で生まれ、古城で育ちました。母に連れられて地域の行事やイベントにも進んで参加しています。古城神樂では、参加される人の食事の準備のお手伝いをしました。また、先月行われた福祉祭りでは、子供力フェのウェイトレスもしました。たぶんお客様が来てくれて、とても嬉しい気持ちになりました。このように、地域の行事やイベントに参加したり、生活したりする中で古城地区の自慢できるところを見つけました。

お よ も と

2019年3月発行 会長 中村 鉄兵



コーディネーターの中川さん

平成30年12月8日に宮崎産業経営大学の講義室にて大淀地区青少年育成協議会と大淀地区社会福祉協議会児童福祉部会共催の「第4回大淀地区子どもたちの声をきく会」を開催しました。進行役に大淀地区青少年協議副会長で今回の実行委員長の増田博文さん、コーディネーター役に大淀地区社会協児童福祉部会長の中川さんで会を進行し、大淀中学校校区内の大淀中学校、大淀小学校、古城小学校、恒久小学校、宮崎南小学校の12名が大淀地区への思いや将来の夢などを発表していただきました。発表後は来場された地域の方々、小中学校の校長先生、大淀地域まちづくり推進委員会の杉尾会長、大淀地区青少年協議の中村会長との活発なディスカッションを行い双方の大淀への熱い思いが感じられるすばらしい会となりました。発表された生徒・児童の皆さん、素晴らしい発表をありがとうございました。また、6月の実行委員会から参加いたきました各学校の先生方、PTAのみなさん、当日の準備、運営に携わっていただきまして、たまちづくり推進委員会事務局をはじめとした地域のみなさん、ご協力誠にありがとうございました。

「第4回大淀地区 子どもの声をきく会 全発表を掲載

大刀王定九

清江先生集



1000 1000



も大切にし
大淀のまちのことを他の県や市町
村の人たちに知ってもらうために、
大淀でたくさんイベントを開さい
するはどうでしょうか。例えば、
あたたかい時期は、大淀川でカヌー
やヨットができるようになり、マ

りたし
古事記したことがあります。それは、ごみのポイ捨てです。公園で遊んでいると、たばこを捨てている人や、ペットボトルを捨てている人がいます。私は、それを一人でも減らすために、公園の清掃を地区のボランティア活動として取り組んではどうかと思います。いつもきれいな公園にすることで、ごみをポイ捨てる人はいなくなるのではないか。私は大淀の人たちのやさしさ、そして、地域の人々との交流や協力を通じて、地域の活性化につなげたいです。

そして、私たちのために、ボランティアで、ドリンクやおかしを用意してくれます。大淀の人たちはすごく嬉しいなど実感しました。

二つめは、地域の人々との交流や協力です。私の地区では、夏まつり、おみこし、八重川辺りのごみ拾いなどいろいろな交流があります。その中でも、八重川辺りのごみ拾いでは、川が汚れないように協力しあって、ごみを減らすよう努力していく。すばらしい取り組だなあと思います。そして、夏まつりでは、小さい子どもから、高齢の者まで楽しめるので、地域の交流として、すごくいいと思います。

宮崎南小六年牧心海
私は、この大淀の町が好きです。
それには二つ理由があります。

こういうふうに人がやさしいところが大淀のまちの一番のいいところだと思います。しかし、最近では、タバコのすいがらなどのごみが落ちているところを多く見かけます。また、ペットボトルを捨てるところでも、紙くずや他のものを捨てたりする人も少なくありません。その人たちに悪気はないとしても、まちがよ汚れてしまします。こうしたことを防ぐためにも、ゴミ箱はペットボトル用、カン用、燃えぐみ用、燃えないごみ用に分別してまとめて置いておくとよいと思します。場所が取れないのならば、ごみ箱を二つに仕切って、せまい場所でもおけるように工夫したらいどうでしょうか。私自身も捨てる場所をまちがえないように気をつけたいと思います。

大淀のまちをよりよくするためには、
私は、大淀のまちがとても好きです。なぜなら、二トリモールなどのお店や高速道路、飛行場が近くにあります。便利だからです。そして、一番の理由は人がやさしいということです。地域の人や見守り隊の人たちにあいさつをすると、必ず返してくれます。だから見守り隊の活動はずっと続けていいってほしいです。私が一番うれしかったことは、いつも横断歩道のところに立っている見守り隊の人が、下校の時に、「おかえりなさい。」と声をかけてくれることで

古城小六年 奥野はるな
みなさん、こんにちは。私の通う
古城小学校は、全校児童一一人の
小さな学校です。小さな学校ですが、
その分、全校みんなの仲が良くて、
上級生も下級生も一緒に遊んだり、
協力して掃除をしたりしています。
女性初の校長先生、鳥原ツル先生が
勤められた学校としても有名です。
また、自然も豊かで、四、五年生を
中心に絶滅危惧種に指定されている
オオイタサンショウウオの保護活動
も頑張っています。毎年、学校近く
の畑に全校児童でコスモスの種を蒔



大淀のまちがよりよくなるために、私自身も地域の人に元気よく進んでいさつをしたり、ごみを落とさないようにして、みんなが笑顔で過ごせるような大淀のまちになるようがんばっていきたいです。

行事予定

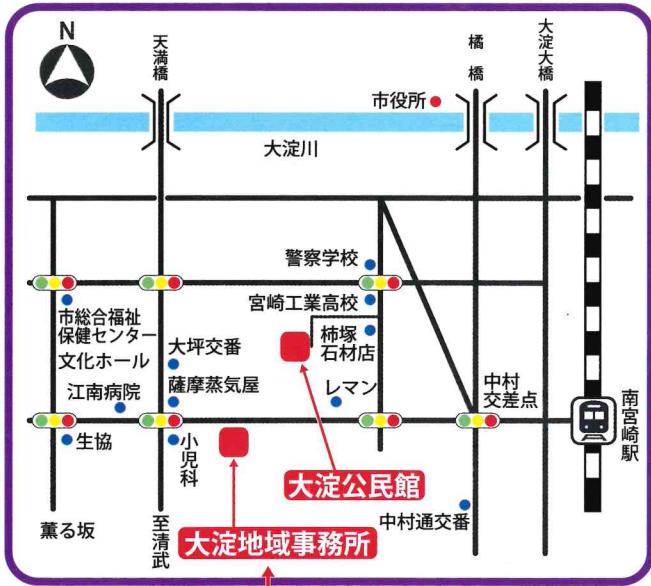
月 日	まちづくり・地域活動・まつり	学校行事
3月1日(金)		宮崎工業高校卒業式
3月3日(日)	淀川橋稲荷神社初午祭	
3月16日(土)		中学校卒業式
3月17日(日)		大淀小吹奏楽部定期演奏会(市民プラザ)
3月21日(木)	古城神社春神楽(古城町中央公民館)	
3月25日(月)		小学校卒業式
3月26日(火)		小中学校終了式
3月下旬~4月上旬	天神山公園桜まつり	
4月5日(金)		小中学校始業式
4月9日(火)		中学校入学式
4月10日(水)		宮崎工業高校入学式
4月11日(木)		小学校入学式
5月中旬	北川内地区体育祭	
5月中旬	太田観世音祭	
6月2日(日)	環境美化の日(市民一斉清掃)	

地域情報

宮崎天満宮歳旦祭(12月31日・1月1日)



中村町恵比須神社大祭(1月9日・10日)



1階 大淀地域事務所 地域協議会事務局
大淀地区社会福祉協議会事務局
2階 大淀地域まちづくり推進委員会事務局

この「元気だより」は地域コミュニティ活動交付金を活用して発行しています。

ニコニコ通信

表紙の大淀地区成人式の写真、お知り合いの方は写っていませんか？皆さん素敵なお顔ですね。賑やかな声まで聞こえてきそうです。

当日の会場は色鮮やかな着物姿の女性たち、きりっとスーツや袴姿で始めた男性たちの華やかな空気に包まれていました。式典中の新成人の皆さんのお顔、力強い誓いのことば、趣向を凝らした実行委員会企画のアトラクションなど、いずれも見ていて大変頼もしく感じました。

テレビを見て知ったのですが、最近はお母さんが着ていた振袖（「ママ振り」と言うそうです）に、小物や帯で今風にアレンジする女性が増えてきているそうです。お母さんの思い出の詰まった着物を母、娘二代で着るというのもまた何とも感慨深いものがありますね。（K.I）

平成31年3月発行

◆編集委員長・柴田 隆雄

◆編集委員・今藤 美香・高妻 富美子・佐藤 能史・迫田 秀一郎

・中園 文・長野 知加子・広前 茂宣・本田 重雄 (50音順)